

航空・宇宙シンポジウム

芝 忠

4月13日、横浜・みなとみらい地区コンチネンタルホテルで「宇宙航空産業・全国中小企業地域連携シンポジウム」が全国から約百人が参加して開催された。かながわ異グ連「まんてんプロジェクト」主催による全国大会で、昨年10月28日に、同じく横浜で第一回が開催されている。今回は宇宙というより、主として航空関連分野における具体的な部品づくりにおける中小企業の役割分担について事例が豊富に発表された。

始めに、(社)日本航空宇宙工業会(SJAC)の堀口幸一技術部長から、工業会の概要と日本の航空産業の現状と将来展望について報告があり、戦前は軍事技術として発展したが、戦後は米国の占領下で航空機技術の開発が禁止され、1950年代からぼちぼち着手され、60年代頃からようやく産業として発展した歴史が語られた。現在、アメリカのボーイング社やフランスのエアバス社の仕事を受注しており、B787の部品全体に占める日本企業側の受注比率は35%にもなっている。しかし日本の航空会社が修理のために購入する装備品の価格がボーイング社との協定により、たとえ日本メーカーが生産する部品であっても米国内の航空会社より割高な価格になっていることが大きな問題となっている。現在その格差を無くす努力がなされており、パネラーの1人、岡山の中小企業が米国部品会社並の資格を取ったという報告が後ほどあった。工業会としては国内中小企業の参入大歓迎ということだった。

栃木県から「栃木航空宇宙懇話会」が、旧中島飛行機の流れを汲んだ富士重工業や神戸製鋼・島津製作所関連で「航空宇宙産業クラスター」を設立し、75社が参加していること、また航空宇宙講演会を開催し、中学生多数を対象とした市民ぐるみの取り組みについて報告があった。

神奈川県からは、JASPA(株)の千田社長からまんてんプロジェクトの活動やJASPAシステムの説明があり、さらに東京での水上飛行艇づくりも共同作業部隊として報告された。国際宇宙ステーションの部品づくりで11社が参画している事例や、昨年6月以降今年3月までの共同受注実績が80件、3600万円程になるという成果報告が反響を呼んだ。

大阪府の「次世代航空機部品供給ネットワーク(OWO)」は、航空機部品のネジをプラズマ侵炭処理生産している(株)田中が中心となって5社で設立された。現在は中核となるOWOの周辺にシンクタンク機能としてのネットワーク参加企業が正会員21社、賛助会員30社の参加がある。中小企業の新施策「新連携」事業の補助金を獲得した。

岡山県の「ウイングウイン岡山」からは、事務局である(財)岡山県産業振興財団が「自動車・造船・繊維以外の産業育成のため、航空機産業を狙った」と、設立動機の説明があった。現在19社が参加し、1年間の受注実績がJASPAを上回る16件、1億7千万円の報告には驚きであった。財団お手の物の、大手企業相手の営業開拓に職員が奮闘、毎月の勉強会には日大航空学科の教授や大手の担当部長などを招いて、経営者の意識向上に注力した。その結果5軸マシニングセンターの装備企業や航空機規格を取得する企業が増加し、着々と共同受注グループとしての態勢づくりが進行中である。中核企業が存在し、大胆な設備投資や米国ボ社への働き掛けなど、事例発表地域としては最も活発な活動を行っているようだ。しかしまだ任意団体のため、今後の組織化の課題があるとのこと。ここも「新連携」の補助金を獲得している。

北海道からの「北海道宇宙科学技術創成センター(HASTIC)」は以上の4事例とは異なり、宇宙観光用の飛行機を飛ばそうとするもので、「北海道から宇宙へ」という地域振興策の一環として位置づけ、広い北海道と高さ50mの無重力実験設備を活用したイメージ戦略としてPRしている。300万円程度で宇宙旅行が3分間楽しめるという計画で、極めて実現性の高い計画だ。しかし運行許可を取る為には現行規制の法律改正が必要のようです。

討論の中で具体的な受注成果に繋がる条件について、岡山からは①JISQ9100規格の取得②5軸MCの装備③3次元測定器の装備が挙げられ、大阪からは「世の中に無い技術だから、必ず需要がある筈の技術」と強調、神奈川からは「部品認定されるシステム」が重要、栃木からは「国産機YS11の後継機の開発を行うべきだった」と指摘。北海道からは、飛行機の自主生産を行うため設計を中小企業の手で徹底的に洗っているが、担当企業社員の質的向上に貢献しているということも報告された。

昨年より充実した内容で、特にビジネスに大きく貢献し始めている事例が多く、中小企業がこの分野への進出支援の大きなきっかけになると考えられる。(4頁に関連記事)

本シンポジウムの懇親会として異グ連ニュース3月・4月号で、山之内製作所の40周年記念パーティと共同開催として、参加を呼びかけていましたが、これは全く別の会合でしたので、関係者の皆様に多大なご迷惑をおかけしましたことを深くお詫びします。

産学官交流サロンのコーナー

第2回西湘サロン

隔月の第二月曜日開催を計画しています。第二回は5月8日(月)18:00~小田原市の露木工作所代表・露木孝作氏「小田原とわが社の経営」(仮題)を予定しています。以降は7月10日、9月11日、11月13日と続きます。各方面からの多数参加を期待しています。
問合せ等：045-633-5142 異グ連
西湘サロン代表幹事 島津俊之

尾上町サロン

開催日：毎月第一・第三金曜日17:30(5月19日、6月2日、16日、7月1日、15日)
場 所：神奈川中小企業センタービル5F異グ連事務所
会費：500円 問合せ：045-633-5142 幹事 芝、鈴木

第14回よすかサロン(三浦半島経済人サロン) 八幡氏

今回はスターリングエンジン開発をライフワークとする防衛大学名誉教授の鶴野省三先生から構想を発表して頂きます。スターリングエンジンとは聞き慣れない言葉ですが、一般のエンジンを内燃機関と呼ぶのに対して、これは外燃機関と呼ばれている画期的な環境に優しいエコエンジンです。解りやすくご説明いただく予定ですので、ぜひ皆様のご聴講をお奨めいたします。

開発に携わって見たい企業はさらに大歓迎です。

日時：5月18日(木)18:00~20:30

場 所：神奈川新聞横須賀支社 5階会議室

会 費：1,000円(懇談時の飲み物、おつまみ代他)

問合せ：横須賀サロン代表幹事 八幡敬和 045-633-5142

NPO 産業クラスター研究会 鶴野省三 046-836-6785

(I・S・Oとの新たな連携関係について)

芝 忠

横浜サロンの会場が、会員の紹介でようやく見つかりましたが、折角の機会なので、会議室管理会社の(I・S・O(インテリジェント・スモール・オフィス)と共同運営をすることとしました。同社は1999年設立、貸しオフィス事業、起業家支援事業等を行い、現在横浜市中区元浜町ヘリオス関内ビルに約130社の会員を擁しています。「ザ・起業塾」や「ISO倶楽部経営セミナー」を開催していますので、異グ連と共同PR、相互交流を図りたいと思っています。今後、異グ連会員へは同社関連情報が提供されますし、また異グ連の各種イベント等にもISO会員が参加することがあると思いますのでよろしく願いいたします。

「中小企業診断士が知っておくと便利：新会社法のポイント」

相楽 守BC

平成17年6月29日に、「会社法」が成立し、平成18年5月より施行されることになりました。今までも「会社法」という言葉をよく耳にしましたが、実際には、「会社法」という法律はなく、「商法の第2編会社」と「有限会社法」等関連法をまとめて「会社法」と呼んでいたものです。

去る4月20日の「中小企業政策研究会」でお話する機会をいただきました。そこで詳しく申し上げましたが、ここで新しい「会社法」の主なポイントを中小企業の視点から見てみましょう。

- 1：「商法」は文語体でしたが、「会社法」は口語体にし、現代風にわかりやすくしました。
- 2：有限会社の良さを飲み込んで、株式会社に集約しました。

特に、「株式譲渡制限会社」（これが、中小企業をイメージしています）と、「株式譲渡非制限会社」（こちらは、大企業や公開会社をイメージしています）の2区分になりますが、ここでは、中小企業にとって関心の深い「株式譲渡制限会社」に触れることにします。

従来、有限会社は株式会社より、信用力が劣ると見られ、そのため家族がやるオーナー会社でも株式会社にして任期2年での役員登記を毎回しなければならない。有限会社なら、信用力は劣るかもしれないが、2年毎の登記の面倒さはなかったのです。今回の新法では、会社を設立する場合には株式会社とすることが必要ですが、同族で経営するような「株式譲渡制限会社」なら、定款で取締役1名で取締役会も監査役もない株式会社ができ、さらに取締役の任期は10年までとすることができます。簡便化した株式会社としています。

さらに円滑な事業継続のために定款で定めれば相続や合併などの株式移転についても会社側が拒否することが可能としました。第3者から企業防衛ができ、一方では放蕩息子への事業承継を拒み、適切な人物への経営権委譲も可能となります。

- 3：資本金の制限がなくなり、会社設立の際の登記事項の変更です。

「1円会社」が5年後も「1円会社」のままでもOKとなります。資本金の制限（従来は、有限会社は300万円以上、株式会社は1,000万円以上。ただし、確認会社で既に崩れかけていました）がなくなったのです。次に、類似商号のチェックが大幅に簡素化されました。同じ番地でなければ同じ行政地区内に商号が同じでも設立可となりました。3つ目が払込金の保管証明が不要になりました。預金の残高証明でOKです。

4：配当の機会増大です。

いままで、多くて年に2回までしか配当が出せませんでした。今後は、業績次第で何回でも配当が出せます。その都度決算が必要です、また、純資産が300万円以上あることが最低条件です。

5：計算書類の信頼性向上を狙います。

会計参与制度が新設されました。従来、監査役を置いていました。今回の改正で、監査役とは別に「**会計参与**」という職が生まれました。公認会計士や税理士のような会計の専門家になることができます。計算書類を作ったり、決算をしたりする立場を強化するものです。しかし、この選任は取締役や監査役と同じように株主総会で選出することが必要です。なお、この会計参与を置く機関にするか置かない機関にするかは、株式譲渡制限会社の中小企業には自由に選択できます。

6：新しい組織形態として、LLCとLLPができます。

有限会社はなくなります。有限責任ですべて社員全員一致の会社「**合同会社**」(日本版LLC)ができます。アメリカではかなり普及している簡単につくれ、スピーディーな運営ができるのが特徴です。そして、いまひとつは、昨年8月から先行して施行され出した「**有限責任組合**」(日本版LLP)です。これは会社ではなく組合です。構成員全員が有限責任であること、損益の分配が出資割合でなく自由に決められるなど内部自治が徹底していること、さらに構成員個人に課税される。いわゆるパススルー課税です「**組織には課税されず(パスする)、分配を受ける構成員に課税される**」として話題になっています。

自社の具体的な対応について気軽にお問合せください。03-3701-9712 mamorusagara@mve.biglobe.ne.jp 相

楽

かながわ異グ連の会員グループやプロジェクトの状況

第64回日韓ビジネス協議会開催案内 高橋道徳BC

会費：1,000円(懇親会：会費も含む)

日時：**5月31日(水)15:15~17:15 定例会**
17:15~18:15 懇親会

場所：神奈川中小企業センタービル5階 会議室

内容：1. 日本企業紹介/新築不動産ビジネス(株)
・・・営業部長 濱田英昭氏
2. 最近のサプリメントについて
・・・(有)精美堂社長 野口修氏
3. 最近の日韓関係
・・・日本サムスン(株)顧問 石田 賢氏
4. 韓国企業とのビジネスについて
・・・(有)オリエントマシン取締役 平手陽介氏

氏

関心ある企業の参加を歓迎致します。

参加時には事務局の高橋まで連絡して下さい。

TEL：045-311-0094

MAIL：mtakahas@tb3.so-net.ne.jp

三浦海洋深層水を楽しむ会

八幡敬和氏

「日本海洋深層水協会」定期総会で決定した「第3回海洋深層水全国フォーラム(6月3日)」に、当楽しむ会も全面協力して参加することとなった。前2回は三浦で開催されたが、今回は伊豆大島(東京都)が開催地となった。我々がかねてより同一水域から取水する大島との交流密度を高めようの方針であったので、大賛成で出向くこととなった。久里浜からからは高速船で1時間の日帰り可能な至近距離にあり、海洋深層水にずぶの素人でも1日間フォーラムに参加すれば、深層水の通になるという不思議な会合です。、非会員の方も歓迎ですので、ぜひ飛び入りをお待ちしています。

日時：**6月3日(土)10:30~17:15**

場所：伊豆大島町役場 会費：無料(懇親会参加者は、3000円です。) 翌日見学会(参加費1000円)が用意されています。

問合せ：日本海洋深層水協会(045-312-1321)

新生 関内・野毛再生プロジェクト

織方盛男BC

従来の「関内地域都市再生プロジェクト(河津リーダー)」が、「地域振興」をより前面に出した活動を行うべく、既存の「野毛商店街活性化プロジェクト」と合体し「関内・野毛地域再生プロジェクト」(仮称)として新生スタートすることになりました。

去る4月17日ヘリオス関内ビルにて初会合を開き、「空きビル対策」「商店街活性化」を融合した地域への提言を通じて、メンバーによる連携・事業化を進めていくこととなりました。次回は5月15日(月)に開催し、具体的なテーマの選定、分担・推進体制、推進スケジュール、等々の検討を予定しています。

今回はリーダー以下メンバーの再選出を予定していますので、関心のある企業・個人・ビジネスコーディネータの皆様の積極的な参加を心からお待ちしています。

連絡・問合せ：045-633-5142 かながわ異グ連事務局・芝、杉本 幹事・織方盛男

<p>C&S グループ18年度総会開催 加藤文男BC</p> <p>C&S グループでは、4月9日日曜日に湯河原万葉荘にて平成18年度総会を開催した。</p> <p>C&S グループは、中小企業診断士及び技術士38名のコンサルタント集団で毎月定例会を開催し、情報交換や研修を実施する。4月の年度始めには、総会開催をすると共に懇親会を行い、宿泊し、深夜まで語り合うのを恒例としている。</p> <p>今年度の総会は、来賓として、異グ連の芝理事をお招きし、異グ連の最近の活動状況をお話頂きました。総会の出席者は、30名、平成17年度の事業報告や会計報告を確認し、規約改正、定例会開催日、ホームページの活用を議題とし、決定し和やかに終了した。</p> <p>●平成18年度の新役員（三役及び理事）</p> <p>会 長：村上嘉男 副会長：小林巽、三神良雄 事務局長：加藤文男 事務局次長：石井君治 会 計：相楽守 会計次長：上野可南子 編集担当：田中弘一 魚崎誠也 ホームページ担当：菊地 博 ビジネス担当：松井利夫 吉池正樹 イベント担当：渡部鉄夫 柳下紀久次 杉本明子 会計監査：原 真一</p>	<p>まんてん全国大会開催報告 千田BC</p> <p>●昨年10月に引き続き、4月13日横浜グランドインターコンチネンタルホテルにて第二回まんてん全国大会（正式名称は宇宙航空産業全国中小企業地域連携シンポジウム）を開催した。参加者はまんてんグループ以外からの参加が過半数を占め総数100名。（社）航空宇宙工業会の基調講演の後、北海道、栃木、大阪、岡山、およびまんてんグループから活動報告があった。前回は宇宙が話題の中心であったが、今回は航空機が話題の中心となった。まんてん滝澤会長の開会の言葉で「本年4月に発行された小学5年の社会科の副教材にまんてんの事業が紹介されるなど社会的な認知が進んできた」ことを背景に、わが国で航空機ビジネスに中小企業が参入するための課や今後の連携の方向など白熱した議論があった。（1頁に関連記事）</p> <p>●3月31日に東京都の認可を受けた水上飛行機開発事業協同組合（組合員数は現在5社、理事長はまんてんグループ顧問の青木氏）がまんてんの会員に加わった。</p> <p>●JASPAは4月から新たに、機構設計、電気設計などの設計の受託事業を開始した。まんてんグループが加工だけではなく、設計から加工、品質管理まで一貫して受注できる体制を構築するため。</p> <p>●7月17日～23日まで英国ファンボロウにてヨーロッパエアショウが開催されるが、この期間にまんてんを中心として日本から視察ミッションを送り出すことを検討中。</p>
--	--

ビジネス塾 **風の流れ** C&Sグループ会長 村上嘉男

堀衛門が94日ぶりに東京拘置所から仮釈放されて娑婆に出てきた。しかし今や粉飾決算の被告の身であり逆風が吹いている。1年前の今頃はニッポン放送の株の買占めで連日日本中の話題を独占しており、世間も一応押せ押せムードで追い風が吹いていた。

一昨年のパリーグの近鉄身売り話が出て突如堀衛門が出てきた時は、IT関連の企業でその正体は知られていなかったため世間の風はどちらに吹いてよいのやら迷い、結果は楽天にもっていかれ堀衛門自身はつむじ風に終わった。

しかし堀衛門のM&Aの動きにより日本の企業はこれまで株主を軽視し、利益を社内に溜め込みその結果、低配当となり株価は低迷し企業の実態を反映していなかったが突如のM&A騒動により、多くの企業も株価を適正な価格に保持するために利益に対応した配当をするという、ご利やくをもたらした。

自民党も今までの強力な追い風に乗っていると思ったら千葉7区の補選で殆ど素人といえるお姉さんに負けてしまい、風向きも一転してどちらに向いてよいのやら参議院選挙をひかえとまどっている。

かように風向きは時の政権保持政党にしてもままならぬようであるが、このところの景気回復をしたか否かの論争についても、はっきり認識された頃は往々にして風向きは既に変わり対応が遅れる結果になりがちである。

企業経営にしても世間の風向きをいち早く捕えるための情報入手手段として、ITの利用や人的情報が得られる異業種交流等を通じて常に風向きに敏感になっていただきたい。

青春とは、怯懦（きょうだ）を避ける勇氣、安易を振り捨てる冒険心を意味する。時には、20歳の青年よりも、60歳の人に青春がある。年を重ねただけで人は老いない。理想を失う時初めて老いる。

歳月は、皮膚にしわを増すが、情熱を失えば心はしぼむ。苦悩・恐怖・失望により気力は地に這い、精神は芥（ごみ）になる。

サムエル・ウエルマン「青春の歌」抜粋

ご投稿を歓迎いたします。かながわ異グ連事務局 tel、045-633-5142 fax、045-633-5194 芝、八幡、島津(龍)、杉本
(広報) mail onogawa@hkg.odn.ne.jp 小野川